

## 第七問

(満点 100点)

第八問とあわせ  
時間 2時間

リスク・アプローチに基づく財務諸表の監査において、内部統制及び監査上の重要性は基本的な論点である。この論点に係る以下の設問に答えなさい。

**問題 1** 内部統制に関して、以下の問いに答えなさい。

**問 1** 内部統制は、企業目的の達成に関して、絶対的ではないが合理的な保証を経営者に提供する仕組みであるといわれている。この場合、内部統制が経営者に提供する保証の程度は、なぜ絶対的ではないが合理的であるといわれるのか、その理由を説明しなさい。

**問 2** 会計上の見積りに関する適切な内部統制が構築されている場合には、統制リスクの程度を相対的に低く抑えることができる場合がある。統制リスクの程度を相対的に低く抑えるために、会計上の見積りに関する内部統制上、経営者は、どのような手続を実施すべきか、5つ挙げなさい。

**問 3** 内部統制における内部監査の役割について述べなさい。

**問題 2** 監査基準は、「監査人は、監査リスクを合理的に低い水準に抑えるために、固有リスクと統制リスクを暫定的に評価して発見リスクの水準を決定するとともに監査上の重要性を勘案して監査計画を策定し、これに基づき監査を実施しなければならない。」(第三 実施基準、一 基本原則、1)と規定している。監査リスクと監査上の重要性に関して、以下の問いに答えなさい。

**問 1** 監査人が考慮する監査リスクと監査上の重要性との間には相関関係があり、他の条件が一定であれば、当初決定された監査上の重要性のもとで評価された監査リスクは、監査上の重要性が変更されると、それに応じて変化することになる。ここに、監査上の重要性が変更されると監査リスクはどのように変化することになるか、説明しなさい。

**問 2** 監査人が監査上の重要性を過度に大きく設定した場合、そのようなことが問題になるか、監査上及び財務諸表の利用者の観点から論評しなさい。